

一 房州旅行

- 1 ・私がKにお嬢さんへの恋を打ち明けようとしていた
・Kに柔らかない空気を吹き込んでやりたい。

恋愛

- ・Kの様子が強く高かったので言えない。
- ・私は安心していた。

- 2 ・私のKに対する劣等感

- ・容貌は女に好かれる。
- ・性格はこせこせしていない。
- ・間が抜けていて、それでいてどこかしつかりした男らしさ。
- ・学力でも優れている。

- 3 ・「精神的に向上心のないものは馬鹿だ」について

- ・K = 私を軽薄だと侮蔑している。
- ・私 = お嬢さんに恋をしている。
「人間らしい」と言つ言葉で弁解する。

- ・K = 自分の修養が足りない。

難行苦行